



震災後の協議会員の活動を紹介します！

平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災より、協議会員の多くの方が復興支援にご活躍されています。今回は、福島県から避難されてきている方を応援した、「エンジョイネットワーク片品」の活動、中之条町「美術空間」の活動の一部をご紹介します。

東日本大震災の後、群馬県にも多くの方が避難されてきました。今、自分に何ができるのか、皆さんが考えたことだと思います。

当協議会の「美術空間」の皆さんが中心になって運営している、中之条町ふるさと交流センター tsumuji に、株式会社ぐるなびと、LLC 場所文化機構の協力のもと、巨大キッチンカーが設置され、5 月 5 日、一流シェフの料理を避難者の方に味わっていただく「ハッピーレストラン」、7・8 日に福島県南相馬市から避難してきている方自身と群馬県のサポートメンバーと一緒に福島県の郷土料理

を作り、販売する「はれのひ食堂」が開催されました。代表の山重徹夫さんは「ふるさと交流センター tsumuji が、福島と群馬を結ぶ「はれのひ」の舞台になれたことは、本当に嬉しく感謝しています。あの日この場所に集った人達が共有できた感動を、これから先もずっと忘れたくないと思いました。「はれのひ」で出来たつながりは、これからも次のつながりを生みながら日本中に広がっていくのだと信じています。私たちに本当の「はれのひ」が訪れる日まで、みんなで共に歩いて行きたいです。」と地域づくりの醍醐味を改めて語ってくださいました。



「エンジョイネットワーク片品」の笠原さんからの手紙

3 月 18 日、およそ 1,000 人の南相馬市民が 23 台の大型バスで夜 11 時に到着してから 3 カ月が経ちました。

その間、我が家には、当初 8 名、昨年度の研修交流会でお世話になった尾瀬山どんには 23 名が避難しました。避難者の一時帰宅など有りましたが、この後 7 月 15 日まで片品での生活が延長になります。避難後の村内は毎日がめまぐるしく、「片品む

らんていあ」というボランティアが立ち上がり、4 月 18 日には「放射能・放射線のはなし」という勉強会を開催しました。市民・住民・職員他 100 名の参加があり、関心の高さが伺えます。

今後は、緊急避難から生活支援へ変わっていくかと思います。

またなにかと御世話になることと思います。何卒よろしく願いいたします。

・・・がんばりましょう

財団法人 地域活性化センター 地域づくり全国協議会より連絡

平成 22 年度事業報告・平成 22 年度収支決算書につきましては、去る 5 月 13 日に監事による監査を受けご承認いただきました。



群馬県地域づくり協議会発行（群馬県企画部地域政策課内）

〒371-8570 群馬県前橋市大手町1-1-1

TEL：027-226-2352（直通）FAX：027-223-4371

URL：http://www.pref.gunma.jp/

群馬県地域づくり協議会

検索

